

Zone A 「好き」を育み、学びを紡ぐコミュニティ—学びと育ちをつなぐ—

この Zone では、学校（園を含む）における実践に焦点をあてて、「子どもたちの学び合うコミュニティ」とそれを支える「保育者や教師の専門職として学び合うコミュニティ」について、長年考えてきました。この数回は、「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」をテーマに、園や学校のさまざまな実践をもとに語り合ってきました。

前回の Spring Session では、中学校と義務教育学校での実践をもとに考えました。一つは、教師から見て「主体的」と見えていた子どもが、実は「ねばならぬ」から動いていたことに気づき、子どもの姿をもとに、改めて学校全体で生活や学びを問い直した実践でした。もう一つは、体育科において子どもたちが主体的に協働で探究していく授業に向けて、同僚と子どもの姿を見取り、支え合いながら、共に学びを創っていく実践でした。これらの実践から、「やらせる—やらされる」「教える—教えられる」関係を超えて、一人一人の思いや考えを学びや育ちにつないでいくプロセスを問い直しました。

一方、次期学習指導要領に向けた議論では「自らの人生を舵取りする力」と「民主的で持続可能な社会の創り手」の育成に向けて、「『好き』を育み、『得意』を伸ばす」と「当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる」が掲げられています。子どもたちが幼・小・中・高を通して、一人一人の「好き」や「得意」をつなぐことと同時に、協働して豊かに学び合っていくコミュニティをつくっていくにはどうしたらいいのか、今まさに問われています。そこで今回はこのことに焦点をあて、Zone のテーマを『「好き」を育み、学びを紡ぐコミュニティ—学びと育ちをつなぐ—』としました。

子どもたち一人一人の「好き」や「得意」を大事に、学びや育ちのつながりも意識して、教科での学びを紡いできた二人の話題提供を踏まえて考えていきます。一つは、小学校からの話題提供です。小学校に入学した子どもたちは、幼児期に様々な経験をしてきています。そうした一人一人の経験や思いを受け止めてどのようにつなぎ、教科の学びを紡いでいくことができるでしょうか。もう一つは、中学校からの話題提供です。異動して間もない教師が、子ども一人一人の学びや育ちの状況をじっくりとつかみ、教師の願いを織り込みながら、どのように子どもと共に学びをつくっていけるのでしょうか。

二つの話題提供から考えたことをグループで語り合いながら、私たちはどのように一人一人の学びと育ちをつなぎ、「好き」を育み、学びを紡いでいけるだろうかと、省察を深めていきます。

☆ハイブリッド開催（対面会場は 90 名定員、オンラインは〆切まで受付）

Connection	14:25-14:40	オンライン接続
Session 0	14:40-15:00	Orientation グループでの自己紹介
Session I	15:00-16:30	Symposium 話題提供と対話を通じた問いの提起
テーマ	「好き」を育み、学びを紡ぐコミュニティ—学びと育ちをつなぐ—	
話題提供	新潟県三条市立大島小学校 教頭 笠原知明 福井市藤島中学校 教諭 佐々木康順	
コーディネーター	福井大学教職大学院 教授 岸野麻衣	
Session II	16:40-17:40	Cross-session 対話を通じた省察と協働探究
	校種等をクロスした小グループでの対話を通して、話題提供を踏まえたそれぞれの省察を共有し、協働で探究していきます。	